

はしぼう 着ぐるみ利用マニュアル



問い合わせ

橋本市 経済推進部 シティプロモーション課

電話0736-33-6106

Mail:chiikisn@city.hashimoto.lg.jp

目次

- 1 : 事前確認
- 2 : 着ぐるみに入るにあたって
- 3 : 着ぐるみ各部の説明
- 4 : 着替えの手順
- 5 : 装演時の注意点
- 6 : 装演時の注意点（アテンダント向け）
- 7 : 取扱い・片付け・管理
- 8 : 運搬と保管
- 9 : 最後に



1 事前確認

着ぐるみを使用する前に、以下の点を必ず確認してください。

人員体制

- ◆ 装演者は、2人で順次交代していく体制が理想です。
- ◆ 1人の場合でも基本15分程度を上限として、必ず休憩を取り水分補給をしてください。
- ◆ アテンダントは必ず1名以上つけ、着ぐるみが周囲の器物やお客さんにぶつかったり、転んでケガ等しないように常に注意を払ってください。
- ◆ 装演者及びアテンダントは、必ず当マニュアルを熟知しておいてください。
- ◆ イベントなどにおいては、演出等について司会者等と十分に打合せを行ってください。

控え室の確保

- ◆ 控え室は、着替えることのできる十分なスペースがあり、着ぐるみを広げることのできる部屋を用意してください。
- ◆ 外部から覗かれることがないように留意してください。

例

- ・ 控え室は、関係者以外立ち入り禁止区域に設ける。
- ・ 入り口前にパーテーションを設置し、外から控え室が見えないようにする。

運搬車両等の確保

- ◆ 着ぐるみ頭部、胴体部及びへら竿を搭載できる車両及び2人以上の運搬人員を準備してください。
- ◆ 使用の前日及び翌日の使用状況を、確認し受渡しの調整を行ってください。

2 着ぐるみに入るにあたって

着ぐるみは視界があまり良くない上、構造上動きが制限されるため、装演者は周囲の状況に十分に注意して危険のないようにしてください。初めて着ぐるみを着用する際には、事前に着ぐるみを試着して、視界、動き等に慣れたうえで本番に臨んでください。

- ◆ 着ぐるみは装演者の身長が160～170cmとして設計されています。身長が高すぎると各部が離れ隙間ができてしまうため、入るには適していません。

◆ 服装

頭：薄手のタオルや手ぬぐいを頭に巻き、前髪が顔にかからないようにゴム等で止めてください。

顔：眼鏡を使用する場合は眼鏡バンドをしてください。

体：上下長袖を着用（ジャージ、長Tシャツ、スパッツ、レギンス等）し、できる限り着ぐるみに肌が直接触れないようにしてください。

足：靴下を着用してください。

注意事項

- ピアス・アクセサリーは外す。
- 化粧は取る。
- 前日の睡眠不足、二日酔いなどは厳禁。
- 必ず適度なストレッチなどの準備運動をする。
- 特に夏場は十分な水分補給を行い、熱中症・脱水症状に十分注意すること。
- 着用したままの喫煙は厳禁。
- 雨天・降雪等の天候時は屋外使用厳禁。
- ぬかるんだ地面での使用厳禁。
- 素材上、汚れが付きやすく、また落ちにくいことに留意すること。

3 着ぐるみ各部の説明

サイズ 頭部（高さ 75cm 幅 95cm 奥行き 85cm）

胴体部（高さ 80cm 幅 80cm 奥行き 60cm）

紀州へら竿（高さ 110cm 幅 16cm 奥行き 10cm）



頭部



紀州へら竿（ケースから抜けません）



胴体部（胴体・靴・手袋）

4 着替えの手順 ※一人では着用できないので必ず複数人で行うこと。

- ①胴体を着ます。
- ②靴をはきます。かかと内部が破損しやすいので気を付けてはいてください。右足と左足の表記でRとLが書かれていますのでそのとおりにはいてください。
- ③手袋をはめてください。靴と同様にRとLの表記があります。

- ④手を胴体に通し、肩紐を上げて、ファスナーを閉めてください。このときに、身長によって変わりますが、肩紐を上げすぎないでください。
- ⑤竿の持つ部分が左上になるように竿を背負います。
- ⑥頭をかぶります。中にヘルメットがあり、そこに頭を合わしてください。視界は口ばしと目と柿の部分のスリットの3点から見えます。
- ※視界が悪くなっているため、足元や障害物等に注意しながら使用してください。

5 装演時の注意点

- 動き** ◆オーバーアクション気味に動いてください。
→着ぐるみは手足が短いので、意識的に大きく動かないと見ている側には着ぐるみの動きが小さく見えます。
- ◆小さな子どもとの握手は、できるだけ膝を曲げスクワット状態で行ってください。
→子どもは大きな着ぐるみに見下ろされる感覚になり、恐怖心を抱くことがあります。
- ◆子どもを抱きかかえる行為、イメージダウンにつながる行為は厳禁です。
- 発声** ◆装演中に声を発することは厳禁です。(特にアテンドとの雑談は厳禁。)
→はしぼうのキャラクターイメージを壊さないため。
- ◆装演者の感情は表に出さないようにしてください。
→不都合な事態はアテンダントが対応してください。
- ◆アテンダントとの間に「緊急事態」「トイレ」などを知らせるサインを決めておいてください。
→周囲の人から殴る蹴るなどの行為を受けた際もアテンダントへのサインで対処してください。
- 移動** ◆進行スピード・方向については、アテンダントの指示に従ってください。
→着ぐるみのサイズが大きく、視界が狭いため、目の届かない部分はアテンダントの指示により把握してください。
- 環境** ◆必ず、一定の時間を守り装演してください。15分ごとに一回休憩をとることを基本とし、無理・無茶な行動は絶対にしないでください。
→特に炎天下や強い照明が当たるステージの際は、時間を調整し、水分補給は必ず行ってください。
- ◆引火の危険があるので、火気のそばには絶対に近寄らないでください。
→着用したままの喫煙は厳禁です。
- ◆雨天・雪の日は屋外に出さないでください。
→着ぐるみの足は大変滑りやすいので、転倒する危険性が高かったり、雨や雪の痕が残り、修復不可能な汚れになる場合があります。

- ◆着ぐるみは、構造上小さな歩幅でしか歩くことができないため、長い距離を歩く、階段・段差を越えることは難しいので注意が必要です。

→はしぼうが通るルート天井高やドア幅等を事前に確認してください。

6 装演時の注意点（アテンダント向け）

- 位置 ◆着ぐるみとは、「付かず離れず」を心がけ、有事の際にはすぐ対応できる距離にいてください。
- ◆必ず、着ぐるみの斜め前あたりから先導し、必要なときは手を引いて着ぐるみの歩行を補助してください。
 - 進行方向や人、障害物の存在を確認し、装演者に伝えてください。子どもなどの突進は必ず止めてください。
 - ◆アテンダントが2人以上つく場合は、前後に分かれてください。
 - 着ぐるみが振り返るときなど後方は危険です。

声かけ ◆必ず状況を装演者へ知らせてあげてください。

- ◆握手・写真撮影は、正面からはしぼうに声をかけて人やカメラの方向を教えてあげてください。
- 声かけは、親しげに装演者ではなく、はしぼうへ声をかけてください。
- 例：「はしぼう、お友達が握手したいそうよ！」
- 「はしぼう、前に階段があるから気をつけてね！」

- ◆控え室外で装演者と無駄話をしないでください。

対応 ◆周囲の状況に絶えず気を配ってください。

- はしぼうは周囲がほとんど見えないので、声かけにより周囲の状況を知らせてください。
- ◆装演者の様子に気を配り、無理させないようにしてください。
- 出演時間はあらかじめ決めておき、時間管理の上、切り上げるタイミングも考えてください。
- 延長は避けてください。
- ◆着ぐるみに危害を加える人には、毅然とした態度で注意してください。
- ◆お客さんからの「入ってるの、男？女？」の質問へは、「はしぼうは、はしぼうですよ！」とにこやかに一言だけ答えてください。
- はしぼうのイメージを守るため、装演者が誰かということについては答えないでください。

※可能であればアテンダントも事前に着ぐるみを装着（体験）しておくとうれしいです。

7 取扱い・片付け・管理

- ◆劣化等を少しでも食い止めるために、持運び・保管等を丁寧に行い、転がす、引きずる等乱暴な扱いはせず、限度以上の動きはしないでください。かび等を防ぐため、正しい片付け方で保管し、返却すること。また、破損したり汚れた場合には、必ず市の担当課まで連絡してください。（重大な破損等が生じた場合は、指定の専門業者でクリーニング・修理補修を行い、原状に復した状態にして返却してください。）

8 運搬と保管

- ◆運搬時は必ず袋に入れた状態で、頭部、その他に分けて複数人で慎重に取り扱ってください。
- ◆車両での移動の際は、車内で着ぐるみが揺れ破損等することのないよう柔らかいものなどで固定してください。
- ◆その他、運搬・返却・保管等については、市の担当課に相談してください。

9 最後に

- ◆はしぼうのプロフィールは下記のとおりです。

(プロフィール)

紀の川に住んでいる妖精だよ。

水や緑豊かな自然を大切にしているよ。

・チャームポイント

「柿」のおかっぱヘアー

・性別

妖精なので、男の子でも女の子でもないよ。

・趣味

ヘラブナ釣りをすること♪

・好きな食べ物

橋本市にはたくさん名産品があるんだ。みんな大好物だよ♥

紹介文（例）

ご紹介をさせていただきます。橋本市のマスコットキャラクターの「はしぼう」です。はしぼうは紀の川に住んでいる妖精です。橋本の豊かな自然や美しい紀の川を大切にしています。チャームポイントは橋本の特産品である「柿」のおかっぱヘアー。趣味はヘラブナ釣りで、国の伝統的工芸品である紀州へら竿を背負っています。

はしぼうは橋本市のさまざまな情報を全国に発信していきますので、みなさんどうぞよろしくお願ひします。

